

こうべ子どもにこにこ会

団体概要：神戸市東灘地域を中心に、多様な文化や社会背景を持った子どもたちへの日本語・教科、母語の学習や、学校を含む生活面でのサポートを通じた居場所づくり等を行う

事業名：多文化フェスティバル深江・キッズカフェ
& 多国籍料理

助成額：200,000 円

事業の実施内容

●多文化フェスティバル深江 キッズカフェ

- ・阪神深江地域 大日神社内 深江会館、10月22日
子どもたちの母国の料理ブラジル：コシーニャ
パラグアイ：マンジョッカ（屋台で調理）
スイーツ類は購入し販売（フィリピン、ペルー、
パラグアイ、ブラジル、ネパール、中国など）
- ・地域の方や東灘日本語教室の学習者、ボランティアの方々との交流を図る機会となった。

●ふかえ～な祭り

- ・外国のお菓子屋さんを出店（日本、フィリピン、ペルー、ブラジル、アルゼンチンなど）
- ・大日神社境内、深江会館 11月5日
保護者の方によるズンパ体験コーナーも企画
- ・地域の支援団体、学校関係、婦人会、青少年協など協賛

●にこにこパーティー 多国籍料理の紹介や舞踊の披露

- ・本庄地域福祉センター 12月16日
フィリピン、アルゼンチン、ペルー、中国、ネパールなどの保護者の方の協力を得て実施
- ・外国につながる子どもたち、保護者、支援ボランティアさんの交流と連携を図る機会を設けた。

事業の成果

多文化フェスティバル深江でのカフェ NIKONIKO や屋台では子どもたち、保護者の方が言葉の壁に臆することなく地域の方々とつながることができた。

自国の食文化、スイーツの紹介ができたことで地域の方々が他国の料理への興味を持つきっかけとなり大変好評で問い合わせを頂いた。

ふかえ～な祭りでは「外国のお菓子屋さん」を出店し、地域中学校、高校の生徒や学生とともに参加、ステージでは南米のダンス ズンパを紹介し体験してもらった。

にこにこパーティーでは子どもたちが特技を披露、保護者の方々にもお菓子や料理、民族舞踊など協力をいただいた。子どもたちの母国の文化が受け入れられることで自己肯定感につながり自信にもなってきたようだ。今年にはサービスできる策でメニューを考え外国につながる児童生徒、保護者の方々と共に企画から実施することが出来た。

今後の課題

今年も外国人労働者や就学生、研修生が増えていることもあり、外国につながる子どもたちも増加傾向にある。特にネパール、中国などでその子どもたちは地域の公立小学校、中学校に通っているが日本語でのコミュニケーションや学習に困難を抱えている。

地域との共生には外国につながる児童生徒・保護者と一緒になって取り組むことで理解を深め、総括的な支援へつながると考える。多文化フェスティバル深江でのキッズカフェは収益を目的としていない為、継続できる方法を考えなければいけないのも課題である。

団体の運営についても安定的な資金確保が課題となっている

この事業を通じて良かったことのエピソード

外国につながる児童生徒、親子で孤立しないために、このようなイベントを企画、母国の食文化を紹介し提供することでアイデンティティの問題の一助となるようにと願いました。

参加できる場を提供したことで、子どもたちが積極的に参加をして子ども店員たちは活躍してくれました。来日して半年の生徒がインタビュアーとなり大学生や地域の方々と交流を図ったり、母国のスイーツや料理を自慢したりと賑やかな一日となりました。居場所となり、つながりができ、信頼関係が培われたのではと思っています。

にこにこパーティーでは子どもたちは特技を披露してくれました。日本語がうまくなくても笑顔で勝負！ 人見知りをなくす！！ 役に立ったのではないのでしょうか。保護者の方々も支援ボランティアの皆さんとも仲良くなったようです。

寄付者へのメッセージ

こうべ子どもにこにこ会での活動が外国につながる子どもたちの居場所となり、学びの場となることが出来ているのも真如苑様、ご寄付を下さる方々、ご理解とご協力があるからこそと感謝しています。ありがとうございます。

